

平成 26 年 8 月 12 日

第 26 回契約監視委員会議事概要

契約監視委員会事務局

1. 開催日及び場所

平成 26 年 8 月 5 日 (火)
富国生命ビル 28 階 第 1 会議室

2. 出席委員 (敬称略)

小西 彦衛 (公認会計士)
奈良 輝久 (弁護士)
田中 辰雄 (慶應義塾大学) *
内田 海基夫 (東日本旅客鉄道㈱)
仲川 滋 (原子力機構監事)
小長谷 公一 (原子力機構監事)
*田中委員は、都合により途中退席

3. 議事内容

(1) 報告

- ① 最近の機構の状況について、資料に基づき報告があった。
また平成 25 年度機構の契約状況等について報告があった。
- ② 「平成 25 年度契約監視委員会報告(案)」について審議し、原案どおり了承された。

(2) 個別審査案件抽出・審査

審査案件 (2 年連続一者応札・応募 10 件、2 年連続関係法人同士の応札・応募 5 件) について、事前に各委員が審査対象リストから案件を抽出した経緯等及び前回の審査で委員からコメントがあった案件について平成 26 年度契約に際しての事前審査において対応することについて事務局が説明し、内容について了解を得た。その後、各委員が個別審査を行った。

(3) 委員会意見の全体取りまとめ

各委員の個別審査を経て、委員会としての意見を取りまとめ、合議した。

(4) その他

第 27 回委員会の開催については、各委員のスケジュールを確認の上、平成 26 年 10 月中旬から下旬頃とし、各委員の都合を確認し、事務局で調整することとした。

以 上

平成 26 年 11 月 12 日

第 27 回契約監視委員会議事概要

契約監視委員会事務局

1. 開催日及び場所

平成 26 年 11 月 11 日（火）

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 情報交流棟

2. 出席委員（敬称略）

小西 彦衛（公認会計士）

奈良 輝久（弁護士）

田中 辰雄（慶應義塾大学）

内田 海基夫（東日本旅客鉄道㈱）

仲川 滋（原子力機構監事）

小長谷 公一（原子力機構監事）

3. 議事内容

（1）報告

事務局より、「原子力機構の集中改革の成果と今後の対応」等について、資料に基づき報告を行った。

（2）個別審査案件抽出・審査

審査案件（2 年連続一者応札・応募、2 年連続関係法人同士の応札・応募及び競争性のない随意契約各 6 件）について、事前に各委員が審査対象リストから案件を抽出した経緯等を事務局が説明し、内容について了解を得た。その後、各委員が個別審査を行った。

（3）委員会意見の全体取りまとめ

各委員の個別審査結果について、委員会として合議し、意見を取りまとめた。

（4）その他

第 28 回委員会の開催については、各委員のスケジュールを確認の上、事務局で調整することとした。

以 上

平成 27 年 2 月 13 日

第 28 回契約監視委員会議事概要

契約監視委員会事務局

1. 開催日及び場所

平成 27 年 2 月 12 日（木）
富国生命ビル 28 階 中会議室

2. 出席委員（敬称略）

小西 彦衛（公認会計士）
奈良 輝久（弁護士）
田中 辰雄（慶應義塾大学）
内田 海基夫（東日本旅客鉄道㈱）
仲川 滋（原子力機構監事）
小長谷 公一（原子力機構監事）

3. 議事内容

（1）報告

事務局より、「機構の最近の状況」、「随意契約における『特命クライテリア』についての改正」及び「政策評価・独立行政法人評価委員会からの勧告に伴う対応（案）」について、資料に基づき報告を行った。

（2）個別審査案件抽出・審査

審査案件（2 年連続一者応札・応募 12 件、2 年連続関係法人同士の応札・応募 6 件）について、事前に各委員が審査対象リストから案件を抽出した経緯等を事務局が説明し、内容について了解を得た。その後、各委員が個別審査を行った。

（3）委員会意見の全体取りまとめ

各委員の個別審査結果について、委員会として合議し、意見を取りまとめた。

（4）その他

- ・第 29 回委員会は、平成 27 年 3 月 11 日（水）13:30 より、富国生命ビル 28 階中会議室で開催することとなった。
- ・政策評価・独立行政法人評価委員会からの勧告の方向性（複数者応札の高落札率契約案件について改善策を講ずること）への対応については、第 29 回委員会であらためて審議することとした。

以 上

平成 27 年 3 月 12 日

第 29 回契約監視委員会議事概要

契約監視委員会事務局

1. 開催日及び場所

平成 27 年 3 月 11 日（火）
富国生命ビル 28 階 中会議室

2. 出席委員（敬称略）

奈良 輝久（弁護士）＊
田中 辰雄（慶應義塾大学）
内田 海基夫（東日本旅客鉄道㈱）
仲川 滋（原子力機構監事）
小長谷 公一（原子力機構監事）

＊急遽欠席されることとなった小西委員長の指名により、奈良委員が委員長を代理

3. 議事内容

（1）検討事項

前回、事務局より報告のあった政策評価・独立行政法人評価委員会からの勧告の方向性（複数者応札の高落札率契約案件について改善策を講ずること）への対応について検討を行い、該当する契約案件について要因ごとのグループに分けて原因の分析・検討を踏まえた改善方策を講ずることとし、平成 27 年度から個別審査の対象とすることとなった。

（2）個別審査案件抽出・審査

審査案件（2 年連続一者応札・応募 10 件、2 年連続関係法人同士の応札・応募 5 件）について、事前に各委員が審査対象リストから案件を抽出した経緯等を事務局が説明し、内容について了解を得た。その後、各委員が個別審査を行った。

（3）委員会意見の全体取りまとめ

各委員の個別審査結果について、委員会として合議し、意見を取りまとめた。

（4）その他

第 30 回委員会の開催については、各委員のスケジュールを確認の上、平成 27 年 6 月後半あるいは 7 月の予定とし、事務局で調整することとした。

以 上